

【節約とコーヒーに関する意識調査】

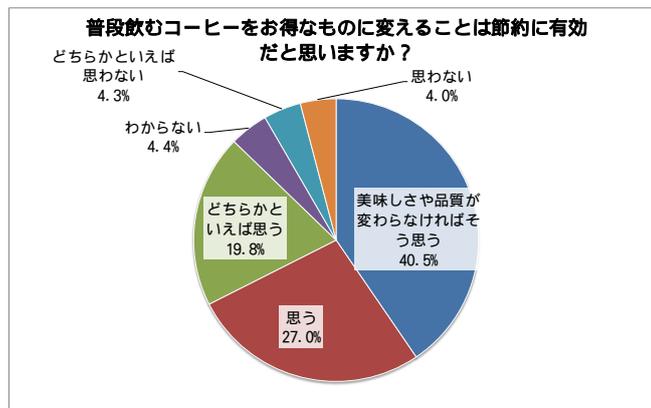
コーヒーを変えることは節約にも好影響！？

増税直前、8割が「コーヒーの“お得化”で節約ができる」と回答

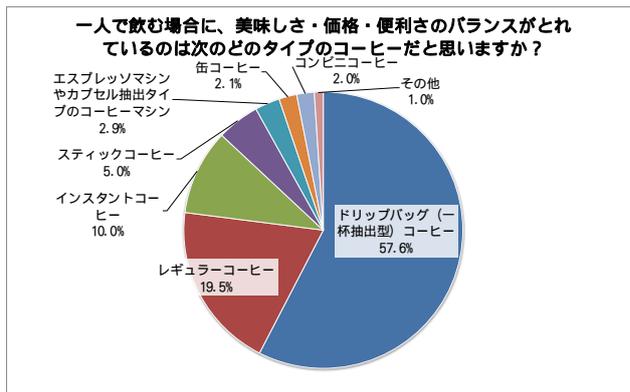
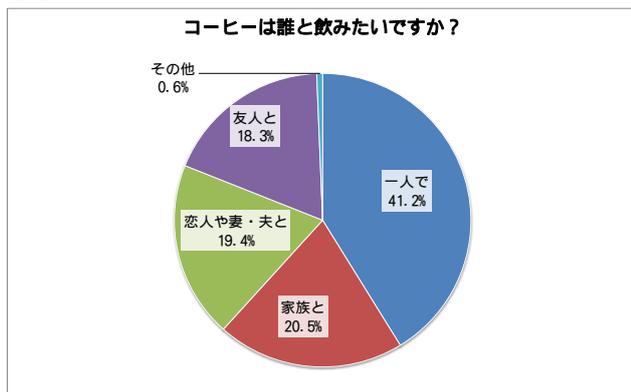
～ひとりコーヒー、飲むなら「ドリップバッグ」(57.5%)が1位に～

2014年4月1日より、消費税が8%に引き上げられます。支出の増加が避けられなくなる状況のなかで、節約に対する意識と、国内で最も飲まれている嗜好飲料であるコーヒーについて質問してみました。

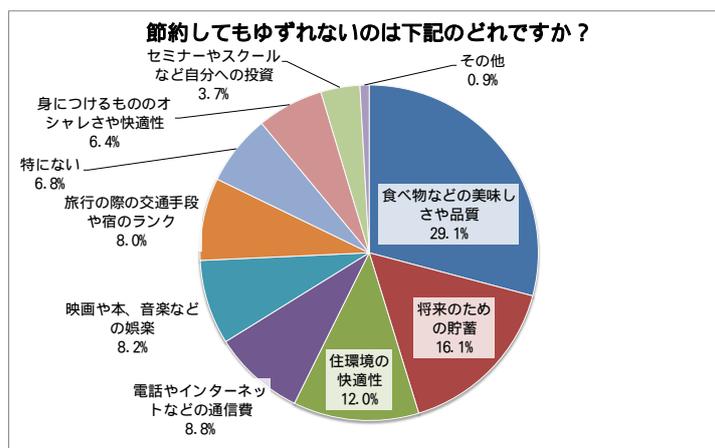
日本国内の嗜好飲料（コーヒー、緑茶、紅茶、炭酸飲料、果実飲料）のなかで、消費量が49.2%と最も多いのがコーヒー（レギュラーコーヒー、インスタントコーヒー、コーヒー飲料を含む）です（全日本コーヒー協会調べ 2012年の消費量データ）。そこで、普段飲むコーヒーをお得なものに変えることは節約に有効だと思うかをアンケート調査で聞いてみました。その結果、「美味しさや品質が変わらなければそう思う」と答えた人は40.5%、「思う」「どちらかといえば思う」と答えた人は46.8%となり、合計すると8割を超える人が「コーヒーを変えることは節約につながる可能性がある」と答えました。



最近では、カプセル抽出タイプのコーヒーマシンなど、いろいろなタイプのコーヒー飲料が普及してきており、シーンや人数に合わせて適したものが選ばれていると思います。そこでまず、コーヒーを誰と飲みたいかという質問をしてみたところ、「一人で」と答えた人が最も多く41.2%でした。また、一人で飲む場合に、美味しさ・価格・便利さのバランスがとれているのはどのタイプのコーヒーだと思いますか？という質問に対しては、「ドリップバッグ（一杯抽出型）コーヒー」と答えた人が最も多く57.5%でした。

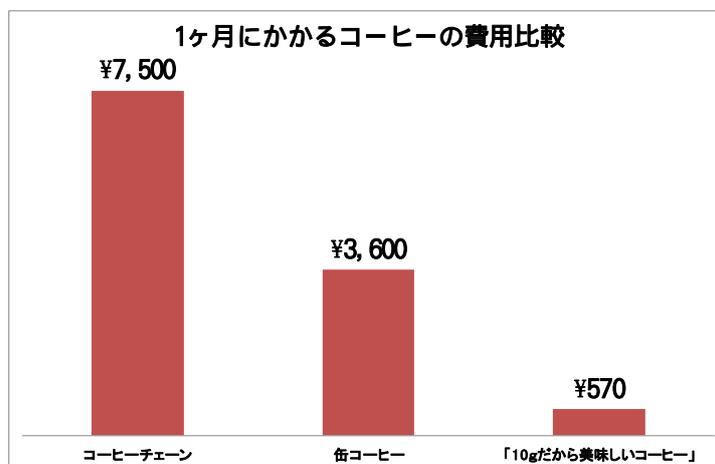


節約してもゆずれないものはどれですか？という質問については、「食べ物などの美味しさや品質」が29.1%、「将来のための貯蓄」が16.1%、「住環境の快適性」12.0%という結果になりました。節約はしても食べ物や暮らしの質は落とさたくないと思う人が多いようです。



そこで、国内で最も飲まれている嗜好飲料であるコーヒーをお得なものに変えると、どれくらい節約できるのか試算してみました。

たとえば、毎日缶コーヒーを買うとすると、1缶約120円×30日で1ヶ月に3600円かかります。一方、コーヒー通販のブルックスから発売されたドリップバッグコーヒー『10gだから美味しいコーヒー』は1杯あたり19円なので、19円×30日=570円（商品の1杯単価で計算）となり、缶コーヒーと比べると1ヶ月で約3030円の節約になります。さらに、コーヒーチェーン店でコーヒーを飲む方であれば、約250円×30日=7500円（自社調べ）となり、1ヶ月に6930円の節約になります。



ドリップバッグコーヒーは、カップにドリップバッグを掛けてお湯を注ぐだけで、簡単に一杯分のコーヒーが楽しめます。お湯さえあればどこでも入れられるので、マイボトルに入れて出かけたり、個包装を職場に持っていけば、いつでもどこでもレギュラーコーヒーの本格的な味を楽しむことができます。しかも、『10gだから美味しいコーヒー』は、1杯分にたっぷり10gのコーヒー豆を使用している贅沢な味わいです。暮らしの質は落とさずに節約するなら、コーヒーを変えてみるのも有効な方法なのではないでしょうか。

【関連ページ】

http://www.brooks.co.jp/lp/10g_cf.php?cmpid=prpsc1001&b=4002

◎一般のお客さまのお問い合わせ先（「お問い合わせ先」を掲載いただく際はこちらをご使用ください）

フリーダイヤル：0120-349-100

HP：<http://www.brooks.co.jp/index.php?cmpid=prpsc1001&b=4002>

【調査概要】

調査手法：インターネット調査

調査対象：ブルックスコーヒーマーケットのPC版メールマガジン会員

有効回答数：2321 サンプル

調査期間：2014年1月30日～2014年2月3日

実施機関：株式会社ブルックス

■会社概要■

商号：株式会社ブルックス

代表者：代表取締役 小川裕子

所在地：〒225-8539 神奈川県横浜市青葉区美しが丘 4-54-6

創立：1968年10月21日

事業内容：コーヒー・茶類を中心とした商品の通信販売事業

URL：<http://www.brooks.co.jp/index.php?cmpid=prpsc1001&b=4002>